



週間情報



No.2647

発行日 平成26年12月2日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 電話 03(3234)1321

両会の動き

◆ 平成27年春の火災予防運動用ポスター等の幹旋について

一般財団法人 全国消防協会

本協会では、防火意識の普及啓発の推進を目的に、毎年、春と秋の火災予防運動の時期に合わせて、全国の消防本部（局）あてに火災予防運動用ポスター等の幹旋を行っておりますが、平成27年春の火災予防運動用ポスター等下記のとおり幹旋することとなりましたのでお知らせします。

貴消防本部（局）の平成27年春の火災予防運動に是非ご活用下さい。

記

1 平成26年度全国統一防火標語

『もういいかい 火を消すまでは まあだだよ』

2 幹旋するポスター等

以下の6種で、いずれもモデルは「松元 絵里花（マツモト エリカ）」さんです。

種 別	ポスター		立看板用ポスター	防火チラシ
	B 2 判	B 3 判		
記 号	N-1	N-2	N-3	N-4
	S-1	S-2		

3 申込方法

所定の申込書により、FAX 又は郵送で直接業者にお申し込みください。

4 申込先

(有) 仲田春光堂

〒340-0004 埼玉県草加市弁天4丁目23番14号

TEL 048-932-4085 FAX 048-932-4086

5 申込締切日

	申込締切日	火災予防運動期間
第1次	平成26年12月26日（金） 業者必着	3月1日（日）～3月7日（土）
第2次	平成27年 1月16日（金） 業者必着	上記以外の期間 （運動期間の遅い地域）

6 納 期

	納品日	納品方法
第1次	平成27年 2月 2日（月）までに	業者より直接納品
第2次	平成27年 2月20日（金）までに	

7 その他

詳細につきましては、平成26年11月28日付け全消協第224号にて各消防本部（局）あてに、ポスター等の各見本とともに、案内文書を送付しておりますのでご確認ください。
また、本協会のホームページにも本件の詳細を掲載しておりますのでご覧ください。

【 <http://www.ffaj-shobo.or.jp/shirtsale/index.html> 】

担当（問い合わせ先）

業務課 ^{かわの} 河野 渡辺

電 話 03-3234-1321

消防本部の動き

行 事

◆ 大垣消防フェスタ2014を開催

大垣消防組合消防本部（岐阜）

大垣消防組合消防本部では、平成26年11月9日（日）、当消防本部とイオンモール大垣の2会場において、大垣消防フェスタ2014を開催しました。

普段は署見学等に訪れることのない地域住民にも消防について理解を深め、防火・防災について興味を持ってもらうために庁舎を開放し、救急応急手当、濃煙迷路避難体験、ちびっ子防火衣を着用しての放水体験、屈折はしご車搭乗体験といった体験型のイベントや、岐阜県防災ヘリ若鮎I号の訓練の見学、火の用心アニメの上映等、見て楽しむイベントなど幅広い内容を用意することで、小さな子どもからその父母まで楽しみながら知識・技術を習得することができました。

当日は雨天にも関わらず大勢の来場者で賑わった会場では、「楽しかったので、ぜひ来年も！」という声が職員に対して寄せられました。

また、住宅用火災警報器の啓発や女性防火クラブによる炊き出し、消防団による消防車両の展示・説明など関係機関と連携した活動を実施したことで地域の防災力向上に努めました。



【大垣消防フェスタ 2014 の様子】

◆ 「消防ふれあい広場～地域へ発信！勇気と元気を～」を開催

郡山地方広域消防組合消防本部（福島）

郡山地方広域消防組合消防本部では、秋の火災予防運動の一環として、平成26年11月9日（日）、当消防本部において「消防ふれあい広場～地域へ発信！勇気と元気を～」を開催しました。

レスキュー体験や煙体験などの防火・防災について楽しく学べる7つの体験コーナーのスタンプラリー、油の過熱などによる火災の再現実験や郡山消防署の部隊による訓練の展示などを行い、来場した多くの方に火災予防をPRしました。

また、当組合の新キャラクター『火まもり君』を初公開したほか、NHKのど自慢チャンピオン大会2013グランドチャンピオンの鈴木裕美子さんに一日消防長を委嘱し、素晴らしい歌声を披露しいただくことによりイベントに華を添えていただきました。



【消防ふれあい広場の様子】

◆ 平成26年度宝塚市防火啓発ポスターコンクールを実施

宝塚市消防本部（兵庫）

宝塚市消防本部では、防火啓発を目的に「平成26年度宝塚市防火啓発ポスターコンクール」を実施し、市内小中学校の児童・生徒から防火ポスターを募集し、平成26年秋の火災予防運動期間中の平成26年11月9日（日）から15日（土）に展示会を開催しました。

市長賞に選ばれた2作品については、防火啓発に役立てるため防火ポスターとして印刷し、市内の各事業所へ配布掲出しました。また、市内を走るバス会社では車内掲示により広報をしていただきました。

当市消防本部では、今後もこのようなイベントを通じて火災予防啓発に努めていきます。



小学校の部

【宝塚市立仁川小学校5年 なりたりようま 成田竜馬さん】



中学校の部

【宝塚市立中山五月台中学校2年 これまつりん 是松凜さん】

◆ 女優の三吉彩花さんを一日消防署長に迎えて消防演習を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁麻布消防署では、平成26年11月10日（月）、グランドハイアット東京において、女優の三吉彩花さんを一日消防署長に迎え大規模な消防演習を実施しました。

「震度7の首都直下地震が発生し、グランドハイアット東京敷地内の岩山のモニュメントが崩壊して利用客が下敷になり、同時に地下1階から発生した火災が上階に延焼拡大し、4階に逃げ遅れがいる。」との想定で演習が開始され、消防隊が救助活動と消火活動を行い、フィナーレに三吉さんの号令により、一斉放水が行われました。

演習を終えた三吉さんは、「私も日ごろから火災予防には気をつけています。みなさんも注意してくださいね。」とコメントしていました。



【消防演習の様子】

訓練・演習

◆ 高等学校で「秋の火災予防運動」に伴う消防訓練を実施

小樽市消防本部（北海道）

小樽市消防本部では、平成26年10月15日（水）、北海道小樽工業高等学校において、消防訓練を実施しました。

この訓練は、「平成26年秋の火災予防運動」（北海道、10月15日～31日）の一環として実施したもので、市民に対する防火意識の啓発と消防・教育機関相互の連携強化を目的として行いました。

訓練は学校の4階部分から出火したとの想定で開始し、自衛消防隊による通報・避難誘導・初期消火活動のほか、救助隊による屋内の検索、はしご車による逃げ遅れた者の救出及び水槽車からの放水活動を実施しました。また、訓練には消防団も参加し、避難誘導や放水活動を行うなど消防団との連携強化も図られました。

当市消防本部では、今後も教育機関の安全と防災力の向上に係る取り組みを推進し、各種防災訓練の継続的な実施に努めたいと考えています。



【高等学校における消防訓練の様子】

◆ 旧鈴鹿市立平田野中学校解体に伴う実戦訓練を実施

鈴鹿市消防本部（三重）

鈴鹿市消防本部では、平成26年10月23日（木）から10月31日（金）にかけて、旧鈴鹿市立平田野中学校の解体工事に伴い同校舎を使用し、指揮隊及び各署の消防隊合同による訓練を行いました。

この訓練では、火災防ぎょ活動に関する技術の向上を図ることを目的に、実際に建物内に炎と煙を発生させ実災害に近い状況において、耐火建物の消火、給排気の設定、水損検証、救助訓練などを実施しました。

各署の消防隊ごとに異なる想定を付与し、実災害に近い状況での訓練を行うことにより、指揮隊と消防隊との連携を再確認することができ、有意義な訓練となりました。

今後もこのような訓練を計画し、指揮隊と消防隊との連携及び若手職員の活動技術の向上を図っていきます。



【市立中学校解体に伴う実践訓練を実施】

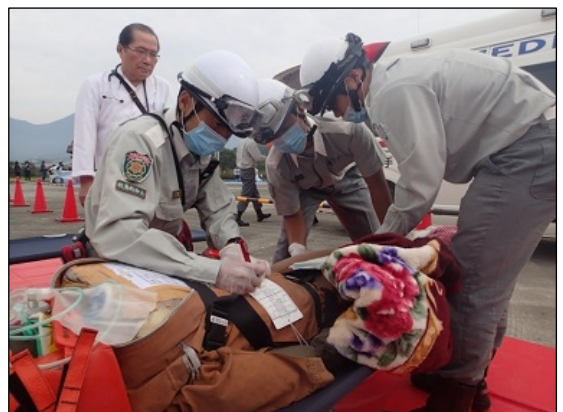
◆ 総合防災訓練を実施

田川地区消防本部（福岡）

田川地区消防本部では、平成26年10月26日（日）、福智町河川公園で地域防災力の強化及び防災意識の高揚を図り、田川地区住民の安全を確保することを目的に総合防災訓練を実施しました。

訓練は参加機関36団体、ヘリコプター2機、車両55台、参加人員337名の大規模訓練となり、緊急地震速報受信時対応行動訓練及びエリアメールを配信する住民参加の訓練から始まり、福岡県警の偵察ヘリや国土交通省の無人ヘリによる情報収集も行いました。

また、消防団を中心とした風水害対策訓練と消防機関と民間企業の連携を図った地震災害対応訓練の項目にライフライン復旧訓練を組み込むなど、より実戦的な訓練となりました。



【総合防災訓練の様子】

◆ 石油コンビナート等防災訓練を実施

松山市消防局（愛媛）

松山市消防局西消防署では、平成26年10月29日（水）、帝人株式会社松山事業所南地区において石油コンビナート等防災訓練を実施しました。

東日本大震災や近年の石油コンビナート等における大規模事故の被害状況等を踏まえ、改正された愛媛県石油コンビナート等防災計画に基づく関係機関との合同訓練は、当防災計画改正後初めてとなります。

本訓練は、南海トラフを震源とするマグニチュード8.4の地震が発生し、特別防災区域内の重油タンク配管から重油が漏れ出し、防油堤内で火災が発生後、タンク火災へと拡大した大規模かつ複合的な災害を想定し、特殊災害発生時における防災関係機関及び関係事業所の連携強化と、周辺住民の避難対策の充実強化を目的に行いました。

当消防署では、今回の訓練内容及び結果について検討し、特殊災害発生時の対応能力をさらに高めていきたいと思っています。



【タンクに一斉放水の様子】

◆ 小隊警防技術発表会を開催

恵那市消防本部（岐阜）

恵那市消防本部では、平成26年10月30日（木）、31日（金）の2日間、当市消防本部において、合併後初の小隊警防技術発表会を開催し、管内の各消防署から9小隊、延べ45名が参加しました。

木造2階建て専用住宅1階台所から出火、濃煙熱気が充満する室内に要救助者1名が逃げ遅れているという想定で実施し、火災出動における先着隊の活動について知識・技術の向上を図りました。



【小隊警防技術発表会の様子】

◆ 若手職員消防隊基礎訓練を実施

有田川町消防本部（和歌山）

有田川町消防本部では、平成26年10月31日（金）、消防副士長・消防士を対象とした消防隊基礎訓練を本部内の訓練場で実施しました。

この訓練は、4名1組で消防隊を編成し、個人装備の着装から消火活動・再出動準備までの基本的な消防活動を行い、隊員間の連携強化や若手職員の早期育成を目的としました。

訓練には全職員の25%にあたる16名（毎日勤務者を含む）が参加し、先輩職員が見守るなか、日頃の訓練成果を発揮していました。



【若手職員消防隊基礎訓練を実施】

◆ 神奈川県下消防相互応援協定に基づき、隣接する二署と合同消防訓練を実施

逗子市消防本部（神奈川）

逗子市消防本部では、平成26年10月31日（金）、当市内の逗子マリーナにおいて、横浜市消防局及び横須賀市消防局と合同消防訓練を実施しました。

訓練は「高層建物火災（10階建）が発生、延焼拡大するとともに建物内には多数の逃げ遅れが発生しているため、応援を必要とする状況」という想定で実施しました。

株式会社リビエラリゾートの協力を得て、屋内に進入して消火活動及び人命検索を行い、逃げ遅れた要救助者をバルコニーから梯子隊と連携救出する等、隣接する二署と災害活動情報の共有化、連携活動の円滑化及び協力体制の確立ができました。



【各消防機関の連携による救出の様子】

◆ 消防防災航空隊連携訓練を実施

須坂市消防本部（長野）

須坂市消防本部では、平成26年11月4日（火）、当市福島スポーツ広場において、長野県消防防災航空隊との連携訓練を実施しました。

本年、9月27日（土）に長野県木曽郡王滝村御嶽山噴火災害が発生した際において、過酷な状況で自衛隊ヘリコプターによる救出、隊員投入が実施されたことから、今回隊員投入訓練を行ったものです。

山間地のみならず、山岳等の遠隔地への救助隊員投入においても有効で迅速な活動に繋がるものと期待し、今後も継続的に連携訓練を実施し災害対応能力向上に努めていきます。



【消防本部救助隊員投入訓練の様子】

◆ 隣接消防本部と医療機関の連携訓練を実施

瀬戸市消防本部（愛知）

瀬戸市消防本部では、平成26年11月9日（日）、当市の公立陶生病院において、隣接消防本部と医療機関の連携訓練を実施しました。

この訓練には、三市消防行政連絡協議会（尾張旭市、長久手市、瀬戸市）の消防機関と医療機関の関係者約100名が参加しました。

訓練は、今年から運用が開始された公立陶生病院西棟の消防用設備を利用した病院職員による初期消火訓練から始まり、医療機関と三市の消防機関が連携した情報伝達、消火、救急、救助訓練が実施され、最後にヘリポートを利用した愛知県ドクターヘリによる転院搬送訓練が行われるなど、参加関係機関の連携の強化を図りました。



【ドクターヘリによる転院搬送訓練の様子】

研 修 等

◆ 消防活動における基本的な法律問題研修会を実施

日立市消防本部（茨城）

日立市消防本部では、平成26年10月24日（金）、当市消防拠点施設の講堂において、当市消防職員を対象に消防活動における基本的な法律問題についての研修会を実施しました。

今回の研修は、消防大学校客員教授である関東一氏を講師に迎え、消防業務を遂行するにあたり消防職員として必要となる基本的な法的権限及び現場活動に関する事例、判例等から消防職員が取るべき具体的な対応を研修しました。また、職員からは災害活動の実例を基にした質疑が数多く出されるなど、職員の意識向上も図れました。

今後も多種多様な研修を実施することで、市民の安全と安心を確保するため、職員個々の能力の向上を図っていきます。



【研修会の様子】

そ の 他

◆ ^{おとふけ}音更消防団女性消防分団「すずらん分団」発足式を実施

北十勝消防事務組合消防本部（北海道）

北十勝消防事務組合消防本部では、平成26年11月1日（土）、消防防災庁舎多目的ホールにおいて、音更消防団・女性消防分団「すずらん分団」の発足式を挙行了しました。

この式典では、管理者、町議会議長をはじめ多数の来賓、消防団幹部の列席のもと、音更消防団長から分団長以下団員16名への辞令交付と分団旗の授与が行われ、女性団員としてきめ細やかな心遣いと優しさなどソフトな感性を生かし地域に愛され、親しまれ、信頼される活動を誓う決意表明がなされました。

この女性消防分団は、更なる組織の充実と強化を図るため、平成5年11月1日に女性消防団員が任用されて以来20年以上経過したことを機に分団化し、分団名は音更町花「スズラン」にちなみ命名されました。新たな女性消防分団の誕生により、消防団組織の活性化やイメージアップ、また、地域住民の防災意識の高揚や地域防災力の向上に繋がっていくものと期待されています。



【すずらん分団発足式の様子】

◆ 平成26年度千葉県消防職員昇任試験を実施

千葉県消防長会（千葉）

千葉県消防長会では、平成26年11月4日（火）、県内統一の昇任試験を実施しました。これは、消防長会事業として従前から行っているもので、希望した消防本部が参加します。

今年度の参加状況は、26消防本部から消防司令補試験に348名、消防士長試験に271名が受験しました。

試験内容は、右表のとおり、消防司令補試験が7科目、消防士長試験が8科目で、1科目40分、各試験委員（8名で任期2年）が問題作成と採点を行います。結果は、事務局において、消防本部順位と県内順位について通知します。

この試験方法のメリットとして、単独実施よりも諸経費（主に通信費）が掛からず、また、県内順位を付けることで自消防本部職員の能力判断に活用されています。

【試験科目・時間割・試験委員】				
科 目	消防司令補要目	消防士長要目	時 間 割	試 験 委 員
憲法及び行政法	憲法及び行政法	憲法及び行政法	9:00～9:40	船橋市消防局長
法 規	地方公務員法 消防組織法	地方公務員法 消防組織法	9:45～10:25	印西地区消防長
予 防 技 術	消防法及び同法 に基づく諸法令	消防法及び同法 に基づく諸法令	10:35～11:15	安房郡市消防長
警 防 技 術	火災防ぎよ 水防・救急	火災防ぎよ 水防・救急	11:20～12:00	市川市消防局長
機 械 技 術	機械運用 ポンプ運用技術	機械運用 ポンプ運用技術	12:40～13:20	習志野市消防長
社 会 常 識	時事問題 その他	時事問題 その他	13:25～14:05	銚子市消防長
論 文	指定した 論文課題	指定した 論文課題	14:15～14:55	流山市消防長
物 象		物理・化学 電気・気象	15:00～15:40	山武郡市消防長

【平成26年度千葉県消防職員昇任試験を実施】

国等の動き

消防庁通知等

◆ エボラ出血熱の国内発生を想定した消防機関における基本的な対応の改正について （11月21日、消防救第196号）

救急企画室長より、各都道府県消防防災主管部（局）長あてに次のとおり通知されましたのでお知らせします。

標記の件については、先般、消防庁において、「エボラ出血熱の国内発生を想定した消防機関における基本的な対応について（依頼）」（平成26年10月28日付け消防救第182号消防庁救急企画室長通知。以下「10月28日通知」という。）により各消防機関における基本的な対応を定めたとところです。

今般、厚生労働省が国内発生を想定した衛生主管部（局）における基本的な対応を示した通知が改正されたことに伴い（「エボラ出血熱の国内発生を想定した行政機関における基本的な対応について（依頼）」（平成26年11月21日付け健感発1121第2号厚生労働省健康局結核感染症課長通知）（別添2（省略））、10月28日通知の内容を別添1（省略）のとおりに改正します。10月28日通知の内容に関係する主な改正点は下記（省略）のとおりで。

貴職においては、下記の内容について十分に留意するとともに、貴都道府県内市町村（消防の事務を処理する組合を含む。）に対して、この旨を周知されますようお願いいたします。

なお、本通知は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第37条の規定に基づく助言として発出するものであることを申し添えます。

○ 全文は、消防庁ホームページ

（http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2611/pdf/261121_kyu196.pdf）に掲載されています。

◆ 「石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテスト」の表彰組織の決定及び総務大臣賞表彰式の実施（１１月２８日、消防庁）

石油コンビナート等における特定事業所において、自衛防災組織の技能及び士気の向上をもって石油コンビナート等の防災体制の充実強化を図ることを目的として「石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテスト」を実施し審査した結果、次のとおり表彰組織（総務大臣賞及び消防庁長官賞）を決定し、総務大臣賞表彰式を実施することとしましたので、公表します。

- 1 総務大臣賞受賞自衛防災組織等
 - (1) 最優秀賞
別表１（省略）のとおり
 - (2) 優秀賞
別表２（省略）のとおり
- 2 総務大臣賞表彰式
 - (1) 日時
平成26年12月５日（金） 14時00分～14時30分
 - (2) 場所
総務省 第１・２会議室（中央合同庁舎２号館 地下２階）
 - (3) 出席者
自衛防災組織等の代表者及び技能コンテスト競技実施隊員の代表者
- 3 消防庁長官賞受賞自衛防災組織等
別添（省略）のとおり

【参考】

「石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテスト」の実施（平成26年８月29日付け報道発表）

http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h26/2608/260829_1houdou/01_houdoushiryou.pdf

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h26/2611/261128_1houdou/01_houdoushiryou.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】

特殊災害室

担当：宮崎、橘高

◆ 「火山防災のために監視・観測体制の充実等が必要な火山」（47火山）における避難施設等の設置状況の実態調査結果（１１月２８日、消防庁）

平成26年9月27日の御嶽山噴火災害を受けて、「火山防災のために監視・観測体制の充実等が必要な火山」（47火山）における避難施設（退避壕・退避舎）、災害情報伝達手段の整備状況について緊急調査を10月に実施し、その結果を取りまとめましたので公表いたします。なお、本調査結果をもとに、今後中央防災会議のもとに設置される火山防災対策推進ワーキンググループ等において、登山者等に対する適切な情報提供や安全対策を検討していくこととしています。

- 1 調査対象
「火山防災のために監視・観測体制の充実等が必要な火山」（47火山）周辺の地方公共団体（23都道府県159市町村）
- 2 調査項目
 - (1) 退避壕・退避舎の整備状況について（施設数、施設規模等）
 - (2) 災害情報伝達手段の整備状況について（防災行政無線、緊急速報メール等）（以下省略）

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h26/2611/261128_1houdou/02_houdoushiryou.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】

国民保護・防災部防災課 担当：岡澤補佐、中島係長

国民保護・防災部防災情報室 担当：齋藤補佐、吉村係長

情報提供等

◆ 「消防力の整備指針及び消防水利の基準の改正説明会」結果

消防庁

- 1 開催日時
平成26年11月27日（木）13：30～15：00
- 2 開催場所
東京都千代田区麹町6丁目6番地
スクワール麹町 3階 錦華
- 3 出席者数
348名
- 4 概要
 - (1) 消防力の整備指針の改正概要
資料（省略）のとおり
 - (2) 消防水利の基準の改正概要
資料（省略）のとおり
 - (3) 質疑応答
質問内容については後日事務連絡にて送付
 - (4) 事務連絡
 - ・ 本日の質疑応答以外に疑義が生じた場合は、12月5日までに消防庁消防救急課に連絡をいただきたい。後日、事務連絡にて本日の質疑応答内容も含め発出する。
 - ・ 平成27年4月に「消防施設整備計画実態調査」を実施する。
- 5 その他
質問等がある場合は、12月5日（金）までに提出してください。その際、都道府県につきましては、当該都道府県内の質疑等を取りまとめるうえ提出していただきますようお願いいたします。なお、様式につきましては、「消防力の整備指針及び消防水利の基準の改正に伴う説明会の開催について（平成26年11月5日付消防消203号）」の別紙3（省略）をご活用ください。

【問い合わせ先】 消防・救急課 警防係
担 当：西羅係長、吉武事務官、中嶋事務官
E-mail：keibou@ml.soumu.go.jp

※ 消防庁各課室の直通電話番号は(<http://www.fdma.go.jp/neuter/about/tel.html>)に掲載されています。

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

週間情報への投稿は企画課へ！

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail：weekly@fcaj.gr.jp